

# 29年6月分 構造用集成材工場の荷動き・価格先行き動向調査1

1. 調査実施期間 平成29年 6月1日～ 29年6月10日

## 2. 調査実施方法

全国の構造用集成材工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
6月分の回答企業数は5社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

### (1) ラミナ荷動き動向 Weight. D. I.

品目		29/6月	7月	8月
入荷動向	国産材	0.0	△ 20.0	△ 10.0
	外材	0.0	△ 12.5	12.5
在庫動向	国産材	△ 25.0	0.0	△ 12.5
	外材	△ 25.0	0.0	12.5

・国産材ラミナの入荷動向は、6月の横ばいが7月、8月は減少に。外材は6月の横ばいが7月は減少から8月は増加に。

・国産材ラミナの在庫動向は、6月の減少が7月は横ばい、8月は再び減少に。外材は6月の減少から7月は横ばい、8月から増加に。

### (2) ラミナ購入価格動向 Weight. D. I.

品目	29/6月	7月	8月
国産材	0.0	0.0	0.0
欧州材	33.3	33.3	33.3
その他	50.0	50.0	50.0

・国産材ラミナの入荷価格動向は保合いで推移。  
欧州材及びその他は強含みで推移。

## モニターからのコメント

### (ラミナ荷動き)

・入荷は、全力で集荷掛けているが、数量は増えず横ばい状況。国内マーケット好調により、国産材製材工場はラミナよりも付加価値の高い通常の製材品の製材に忙しい模様。外材は、当社では「米ヒバ」材ということになる。しばらく入荷タイトな状況続いたが、北米での米ヒバ原木の出材には目途が立ち、8月以降増量が見込まれる。ただし、価格勝負で米ヒバ原木を抑えたため、入荷コストは大幅に上昇した。

・国産材の在庫動向は、引き続き「横ばい」という名の「ほぼ在庫ゼロ」で推移。自社製材分も外部購入分も、製材（入荷）→乾燥完了次第即製品となり、ラミナ在庫は超低位で横ばい推移する。外材は、当社の場合「米ヒバ」。入荷タイトな状況続き、6月、7月は在庫減少するが8月からは北米からの入荷が増えるため、それに伴って弊社在庫も増える予定。

### (ラミナ価格動向)

・国産ラミナの価格動向は、当社の場合ヒノキが該当するが、値段が上がったから数量が集まる物でもなく、横ばい推移が続く。

・欧州材については、当社では取扱いないが、一般的な同業他社の情報によれば、欧州→極東向けのコンテナ不足や、そもそも欧州サプライヤーからのオファー自体が少ないなどの要因もあり値上がり傾向。

・その他（米ヒバ）については、米国住宅着工好調により米スギの代替材として米国向けに米ヒバが買われている。昨秋から今春にかけて産地バンクーバー周辺の天候が不順で、秋～春の出材が少なかったため、米ヒバ丸太が不足。よって、原木不足→ラミナ原料不足→値段大高騰となる。

## 29年6月分 構造用集成材工場の荷動き・価格先行き動向調査2

## (3) 構造用集成材荷動き動向 Weight. D. I.

品目		29/6月	7月	8月
生産動向	国産材	10.0	0.0	10.0
	WW集成管柱	0.0	0.0	0.0
	RW集成平角	12.5	12.5	12.5
	米マツ集成平角	0.0	0.0	0.0
	WW集成平角	—	—	—
出荷動向	国産材	0.0	△ 10.0	10.0
	WW集成管柱	△ 16.7	0.0	0.0
	RW集成平角	0.0	0.0	0.0
	米マツ集成平角	12.5	△ 12.5	0.0
	WW集成平角	—	—	—

- ・国産構造用集成材の生産動向は、6月の増加が7月、8月は横ばいに。WW集成管柱及び米マツは3カ月連続で横ばいで推移。RW集成平角は3カ月連続で増加。
- ・国産構造用集成材の出荷動向は、6月の減少が7月は横ばい、8月は増加に。WW集成管柱6月の減少が7月、8月は横ばい推移。
- ・RW・米マツ集成平角は3カ月連続の横ばいへ。

## (4) 構造用集成材出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	29/6月	7月	8月
スギ集成管柱	10.0	10.0	20.0
ヒノキ集成柱	0.0	0.0	0.0
ヒノキ集成土台	0.0	0.0	16.7
カラマツ集成土台	16.7	16.7	16.7
WW集成管柱	16.7	16.7	16.7
RW集成平角	12.5	37.5	25.0
米マツ集成平角	0.0	0.0	0.0
WW集成平角	—	—	—
米ヒバ土台角	0.0	0.0	0.0
カラマツ集成平角	—	—	—

- ・スギ集成管柱、カラマツ集成土台、WW集成管柱及びRW集成平角は強含みで推移。ヒノキ集成柱、ヒノキ集成土台、米マツ集成平角及び米ヒバ土台角は保合いで推移。

## モニターからのコメント

## (構造用集成材の荷動き)

- ・国産構造用集成材：当社では「ヒノキ集成材」となる。引き合い好調で全力生産継続中により「横ばい」となる。来月7月からは当社新工場の一部設備稼働により、若干の増産が見込まれる。
- ・WW集成管柱：当社では生産していないが、一般的な同業他社の情報によれば、こちらも比較的受注好調で、通常以上の順調な生産が続いている。
- ・RW集成平角：当社では生産していないが、一般的な同業他社の情報によれば、受注極めて好調で、国内工場各社はフル生産状態とのこと。
- ・米マツ集成平角：当社では生産していないが、増産、減産の話はあまり聞かれない、そもそも米松集成材はWWやRWと異なり、一部の高強度を求める顧客用や非住宅向けが中心、限られたマーケット故、大勢への影響は微小と考えられる。
- ・米ヒバ集成土台：依然引き合い多く、納期に追われる状況。全力生産継続が続く。7月には当社新工場の設備が一部使用できるようになり、若干の増産に転じる予定。

## (構造用集成材の出荷価格動向)

- ・スギ集成管柱：当社生産品目ではないが、数量不足、強含み傾向と聞く。欧州WW集成管柱の入荷が増えず、強含み傾向なことに連動している模様。
- ・ヒノキ集成柱：当社では強い引き合いの下、全力生産が続く、値上げしたい所だが、当社新工場での増産を及び拡販を見込み、戦略的に価格維持している。
- ・ヒノキ集成土台：当社では強い引き合いの下、全力生産が続く、値上げしたい所だが、当社新工場での増産及び拡販を見込み、戦略的に価格を維持している。
- ・カラマツ集成土台：当社生産品目ではないが、こちらも絶対量不足気味で受注に対して供給が間に合っていないと聞く。
- ・WW集成管柱：当社生産品目ではないが、欧州からのコンテナフレートと上昇に起因するラミナ価格の上昇に連動し製品価格も強含み傾向と聞く。
- ・RW集成平角：ラミナコスト上昇、製品の引き合い極めて強いと言うことで、値上がり傾向。当社生産品目ではなく、マーケットでも限られた需要しかないと考えられる。
- ・米ヒバ土台角：原料価格の上昇も急激で、製品の値上げが追い付いていない。今後もお客様各社には値上げの依頼をしていく予定。